

あなたの感想をお聞かせください。

子どもが学校に行けなくなり始めたのは、些細なことがきっかけでした。もともと友達付き合いが得意なタイプではなく、クラスでの出来事が引き金になったようです。最初は軽い拒否感だったのが、次第に「朝になると頭が痛い」と言うようになり、やがて完全に学校を休むようになりました。

家庭では無理に学校に行かせようとはしませんでした。代わりに「いつから行くつもりか」という問いを繰り返してしまい、結果的に子どもを追い詰めていたように思っています。一方で、私自身も仕事を抱えている中で、おとうと家にいる子どもをどうあればいいのかわからず、いろいろしてしまう日々が続きました。

そんな時、たまたま友人からフリースクールLeadのことを聞きました。最初の面談で塾長の埼玉先生が「お子さんだけでなく、親御さん自身の負担を軽くすることも大切ですね」と話してくださり、その言葉に胸を打たれました。私たちがどなかで「親が何とかしなければ」と思い込んでいたのです。埼玉先生の言葉にその考えを手放してもいいのだと感じさせてもらいました。

入寮後、子どもは少しずつ笑顔を取り戻していきました。初めてLeadのスタッフから「今日はスタッフと一緒に散歩に出かけました」と報告を受けた時は、ただ外に出るだけでもこんなに嬉しいのだと実感しました。家庭では見ることができなかった「外の世界での子どもの姿」を知ることで、私たちが親も救われた気持ちになりました。

Leadの特徴は、ただ生活環境を整えるだけではなく、子ども自身が「できること」を少しずつ増やしていける場であることだと思いました。

学だけでなく、生活そのものがプログラムの一環になっていて、  
部屋を片付ける「一日を計画する」といった当たり前のことを無理なく  
取り戻していきるのが印象的でした。

親としては、最初は「子どもを預ける」という選択に罪悪感が  
ありました。しかし、塾長が「親子が少し距離を置くことは、お互いの  
ために必要なことであ」と言ってくださり、その言葉通り、私自身も心に  
余裕が生まれ、子どもの成長を見守ることができるようになりました。  
今では、子どもが自分で小さな目標を作り、それを達成する楽しさ  
を感じられるようになっていきます。そして私自身も「何とかしなければ」  
という焦りから解放され、子どもと穏やかな関係を築けるよう  
になりました。Leadは、私たち親子にとって、もう一度スタートラインに立つた  
ための大切な場所でした。